

50th おきなわ市トピックス



11/9・10

オキナワモーターショー2024

車やバイクのもつ魅力の発信と自動車関連産業との連携を深めることを目的に県内最大級のモーターショー「オキナワモーターショー2024」が沖縄アリーナ及びコザ運動公園で開催され、約2万8千人が来場しました。

メインアリーナには、「世界一過酷」といわれるダカールラリーで使われたラリー車両が登場。流線型のシルエットを誇るスポーツカーや磨き上げられた旧車など魅力的な車両が多数展示されました。

屋外では、ドリフトデモランやエクストリームバイク実演が行われ、大迫力と華麗なテクニックで観客の目をくぎ付けにしました。ミニ四駆体験など子ども向けコンテンツも多数あり、大人から子どもまで楽しめる充実の内容で車やバイクの持つ魅力が発信されました。



11/23

世界各国の伝統文化に触れる「沖縄国際カーニバル2024」

世界45か国以上の人々が暮らす国際色豊かな沖縄市ならではのイベント「沖縄国際カーニバル2024」が、コザ・ゲート通りを主会場に開催されました。

市民団体やイベント出演者らが華やかな衣装で行進するカーニバルパレードで幕開け、沿道に集まった観客を沸かせました。

ミュージックタウン1階音楽広場では、沖縄サンバカーニバルや沖縄の伝統芸能が堪能できるアトラクション。コザ・ゲート通りでは、「第35回沖縄市国際交流フェスティバル」で世界の踊りや歌など伝統文化のステージや、おきなわ音楽月間「まちなかLIVE Vol.3」でKACHIMBAやPRIZMなどのライブステージがあり、会場を大いに盛り上げました。





12/1

沖縄市文化芸術祭2024

「沖縄市文化芸術祭2024」が沖縄市民会館大ホールで開催されました。

沖縄市芸能団体協議会の9つの琉舞練場の代表による四つ竹で幕開けし、二才踊「せい」、こども舞踊「わらびんちゃー」、琉球舞踊「沖縄音頭」が披露されました。

市内からは、泡瀬京太郎保存会によるかつて沖縄で行われていた祝福芸の様子を伝える泡瀬の京太郎(チョングラー)、悪霊を祓うとともに世果報の招来、五穀豊穡と地域の安寧・繁栄を願う行事として地域で受け継がれたきた胡屋仲宗根郷友会の胡屋・仲宗根遊び獅子が躍動感ある獅子舞を披露しました。

市外からは、那覇市首里クエーナ保存会より、首里の女性たちが守り伝えた祈りの唄クエーナが厳かに演じられたほか、3団体が出演しました。

それぞれの地域が誇る伝統的な芸能を堪能できる文化芸術祭に熱心なファンが訪れました。



12/1

学びを楽しむ生涯学習フェスティバル



あらゆる世代へ向けて生涯学習の場や情報を提供することにより、学習活動への参加を促すことを目的とした「第29回沖縄市生涯学習フェスティバル」が、沖縄市体育館及び多目的運動場などで開催されました。

会場ではさまざまな小物づくりや茶道体験等の体験コーナーが設けられたほか、舞台発表やパネル展示も行われました。

訪れた市民は「普段体験できないことにたくさん挑戦できて楽しかった」と話し、こどもから大人まで、楽しく体験しながら学びました。



50th おきなわ市トピックス

11/5 沖縄市防災訓練

11月5日「津波防災の日」に、大規模地震と津波を想定した沖縄市防災訓練が実施されました。市役所では職員災害対応訓練、市内全域では避難訓練が実施され、学校や施設など250以上の団体、約1万6千人が訓練に参加しました。

宮里小学校(他2校)では、自主防災組織や自治会による避難所運営訓練が初めて実施され、体育館の安全点検や避難所設営等を行った後、訓練で避難してきた方の受付、誘導等が行われました。

市桃原の聖母幼稚園では、園児や保育士約130人が高台にある遍照寺霊園かなさへ避難しました。



11/7・8 令和6年度沖縄市地域慰霊祭

太平洋戦争において犠牲となった戦没者の御霊を慰めるとともに世界の恒久平和を誓い、平和行政を推進するため、地域慰霊祭が行われました。

11月7日には知花城跡慰霊塔で「令和6年度美里地域慰霊祭」、11月8日には沖縄こどもの国公園内慰霊之塔で「令和6年度コザ地域慰霊祭」が行われ、戦没者の御霊に黙とうや追悼の言葉を捧げました。

知花城跡慰霊塔には2,721柱、沖縄こどもの国公園内慰霊之塔には2,016柱の戦没者が合祀されています。



▲美里地域慰霊祭



▲コザ地域慰霊祭

11/8 おきなわ音楽月間 まちなかLIVE Vol.2

県内で活躍するミュージシャンの歌や演奏が楽しめる「おきなわ音楽月間まちなかLIVE Vol.2」が、コザ・ミュージックタウン1階音楽広場で開催されました。

高校生姉弟のバンド「Unmark Rabbit」は迫力ある歌や音楽を披露。「むぎ(猫)」はかわいらしい猫の姿と歌や木琴で会場を沸かせました。「MR」は伸びやかで透き通る歌声で観客を魅了。トリを務めた「邦びよ」の心に響くラップで会場が一体となって盛り上がりました。



11/13 教育分野の功績を称える表彰式典

市民らの本市教育への功績を顕彰する沖縄市教育委員会表彰式典が、沖縄市民小劇場あしびなーで行われました。当式典は昭和58年から始まり、今年で42回目となります。

他の模範となる優秀な活動を行った児童生徒18人、学校教育並びに文化活動等に尽力した個人18人、特色ある学校教育活動を行った団体や部活動等で優秀な成績を挙げた7団体へ表彰状が贈られました。



11/19 第4回全日本少年少女空手道選抜大会出場の報告

空手道場「拳龍同志会」の監督及び選手5人が市役所を訪れ、9月に行われた県大会、10月に行われた九州大会において個人および団体で優秀な成績をおさめ、2月に神奈川県で開催される「令和6年度スポーツ長官賞争奪日本生命杯第4回全日本少年少女空手道選抜大会」への派遣が決定したことを報告しました。

石川琉之助さん(越来小1年)は「2月の全国大会でも勝ちたいです」、石原健誠さん(高原小2年)は「全国大会でもダントツの点数を出して優勝します」と意気込みました。





11/12 税に関する作文・絵はがきの表彰式

税への関心を深めることを目的に行われた税に関する作文や絵はがきコンクールで優秀な成績を収めた児童・生徒への表彰式が市役所で行われ、小学生4人、中学生6人、高校生4人の計14人が表彰されました。また租税教育推進校への感謝状贈呈式も行われ、コザ小学校に感謝状が授与されました。式では受賞者を代表して知念リマアさん(安慶田中3年)が「森林環境税の問題点」と題した受賞作を朗読しました。



11/15 暴力のない安全・安心な社会を

暴力団を根絶し、暴力のない、安全で安心な明るく住みよい社会の実現を目指して「第32回暴力団追放沖縄県民大会並びに暴力団壊滅沖縄市民総決起大会」が、沖縄市民会館大ホールで開催されました。鎌谷陽之沖縄県警察本部長は「官民一体となった暴力団排除活動を強力に推進して暴力団のない安心安全な沖縄県の実現に尽力する」と力強く述べました。功労のあった個人や団体への表彰が行われたほか、大会宣言が採択されました。



11/17 長寿祝いカジマヤーパレード

市嘉間良在住の照屋ノブ子さんは、昭和4年生まれ数えで97歳となり、カジマヤーパレードが地域で行われました。親戚で飾り付けた5台の車列で自宅を出発し、カジマヤーのしきたりとされる7つの橋、7つの十字路を巡り、お祝い会場まで約1時間のパレードが行われました。親戚や地域の人々は風車を受け取って長寿にあやかりました。ノブ子さんには6人の子と孫・ひ孫が56人います。



11/20 ホームステイで学んだことを英語で発表

オーストラリアで10月5日から19日までの15日間のホームステイを終えた市内中学校の生徒11人の報告会が、沖縄市民小劇場あしびなーにて行われました。生徒らはホームステイで学んだことを英語で堂々と発表。兼城紗彩さん(沖縄東中3年)は「ホームステイを通して、オーストラリアの文化を学び、体験して、かけがえのない時間を過ごせました」と英語で報告しました。



11/21 第3回沖縄市防災会議

第3回沖縄市防災会議が市役所地下2階大ホールにて開催されました。行政機関、防災関係機関や自主防災組織等の団体・企業の代表が集まり、沖縄市地域防災計画の修正案について審議しました。近年発生した災害や関連法の改正等を踏まえ、災害対策本部体制の発令基準の見直しや、DX推進、SDGs等の観点についての追記等が承認されました。



11/22~24 第47回沖縄市文化祭 展示発表

沖縄市文化協会会員の芸術文化の創造と伝統文化の継承発展を図ることを目的に「第47回沖縄市文化祭 展示発表」が沖縄市体育館で開催されました。「茶道」「華道」「書道」「美術」「写真」「盆栽」「フラワーデザイン」「琉歌」「文芸」「陶芸」「工芸」の各分野の作品が展示され、多くの市民が訪れました。今回は、豊中市との兄弟都市提携50周年を記念して豊中市からの力作も展示されました。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ

50th おきなわ市トピックス

11/23~12/19 ジャパンウィンターリーグ2024

プロ志望の学生や実戦経験を積みたい選手らが参加し、今回で3回目となる野球の「ジャパンウィンターリーグ2024」がコザしんきんスタジアムで開催されました。日本国内だけでなく海外からも多くの選手が参加し、11月23日から12月19日までの期間、新しい挑戦のためのトライアウトと実戦でスキルアップを目指すアドバンスの2つのリーグが行われました。国内外のスカウトからも注目を集めています。



11/26 市に国税事務所長が感謝状

国税の申告・納税、e-Taxの普及・定着、その他納税思想の高揚等および税務行政の推進に功績したとして、沖縄国税事務所長より市へ税務功労感謝状が贈呈されました。市は令和5年分確定申告期に、所得税等申告書の85.5%をデータ化して国に継ぎし、令和4年度より75%大幅に向上し確定申告事務の効率化に貢献しました。



11/26 健康レシピコンテスト表彰式

市民よりアイデアレシピを募り開催した「第3回健康レシピコンテスト」の表彰式が市役所にて行われました。

【受賞者(敬称略)】

- 最優秀賞小中学生の部:秋田莉緒(美東小5年)「キングス丼」/一般の部:仲村新夏「たんぱく質と野菜たっぷりヘルシー島ハンバーグ」
- 優秀賞小中学生の部:國吉優菜(球陽中3年)「野菜をたっぷり麻婆豆腐丼」/玉城野恵(山内中1年)「ヘチマーボー丼」/一般の部:池宮城麻希菜「豚しゃぶのさっぱりネバネバサラダ」/仲宗根美幸「もずくと野菜の混ぜごはん」



▲受賞者のレシピ



11/22~ 「沖縄市のお宝展」博物館企画展

市立郷土博物館開館40周年を記念して、資料収集活動のなかで沖縄市を特徴づける重要なものを展示した「沖縄市のお宝展」が、郷土博物館で開催されています。越来ノロが代々受け継いできた大型銭(正徳通寶)や八重島貝塚から出土した蝶形骨製品、市内に生息する大きくて短命な光合成をしない「タカツルラン」などが展示されています。企画展は、2月2日まで。



11/29 東海市との中学生交流事業出発式

姉妹都市である東海市と沖縄市の中学生が生徒・学校間の交流を深め、自然・文化・歴史など学習し、相互に親善訪問する交流事業の冬季交流出発式が市役所正面玄関で行われました。沖縄市交流団員代表生徒で挨拶をした伊禮心菜さん(美里中2年)は、「東海市の同級生と交流を深めたい」と話しました。市内中学校から14人の生徒が交流事業に参加しました。



12/3 米沢市との小学生交流事業出発式

米沢市沖縄市小学生交流事業の冬季交流出発式が青少年センターにて行われました。姉妹都市である山形県米沢市との相互理解と親愛の情を深め、広い視野に立った児童の育成を図ることを目的に交流事業を毎年実施しています。12月12日から15日までの4日間、米沢市で市長表敬や児童との交流、社会見学、体験学習等が行われました。



11/28 沖縄市民憲章制定50周年記念式典

沖縄市民憲章制定50周年記念式典が沖縄市民会館中ホールで行なわれました。式典では、市民憲章運動の一環として、市内の小学1年生から中学3年生へ作文を募り開催した「令和6年度沖縄市児童生徒作文コンクール」の受賞表彰式が開催されました。

受賞作品は、令和7年2月発行予定の「令和6年度沖縄市小中学校児童生徒作文集」(沖縄市民憲章推進協議会発行)に掲載されます。

【入賞者(敬称略)】

小学校の部(テーマ:小さな親切運動について)

◆ **ハイビスカス賞**

豊嶋要羽(山内小1年)、銘苅輝力(北美小5年)、宮平愛梨(美原小5年)、平西優羽(比屋根小6年)

◆ **優秀賞**

新居萌葉(北美小5年)、金城歩志(比屋根小3年)、與那嶺凜(比屋根小5年)、湧川琉星(美原小6年)



【入賞者(敬称略)】

中学校の部(テーマ:6つのテーマから1つを選択)

◆ **ゆいまーる賞**

今手結月(美東中1年)、外間心瞳(コザ中1年)、大槻愛実(安慶田中3年)

◆ **優秀賞**

澤岷穂乃佳(安慶田中3年)、普久原香音(安慶田中3年)、島袋多未亜(コザ中2年)、仲宗根綺莉(コザ中3年)

～寄付・寄贈等～ 皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
寄付金等贈呈式を行った皆さまをご紹介します。いただいた寄付金等は、有効活用いたします。

11/19 明治安田生命保険相互会社
(コザ営業所 営業所長 木下 健一)

地域住民の健康増進へ
私の地元応援募金
520,600円



11/26 有限会社幸地建設
(代表取締役 幸地 俊郎)

沖縄市育英会へ
寄付金
12万円



11/27 株式会社結電気
(代表取締役 東江 広憲)

沖縄市育英会へ
寄付金
10万円



12/2 越来中学校19期生
(越来中学校19期生同窓会実行委員長 大屋 毅)

沖縄市社会福祉協議会へ
寄付金
385,576円



12/3 株式会社インディペンデンス
(代表取締役社長 近藤 洋介)

市内9公園へ
バスケットボールリングネット
13枚



12/3 合同会社縁
(代表社員 宮里 卓)

沖縄市育英会へ
寄付金
10万円

